

足底性皮膚炎



① びらんを起こした足の裏



② 正常な足の裏

ウサギの足裏には犬猫にみられる肉球がなく、足裏全体が毛でおおわれています。寒冷やけがの予防から毛が密集していますが、ときどき毛が薄くなったり皮膚が赤くなったり潰瘍ができてしまうことがあります。原因は、硬い床や運動不足、不衛生により血行不良となり皮膚炎をおこします。足底皮膚炎を放置しておくと潰瘍が骨に達して敗血症をおこし、死の転帰を取ることもあります。

症状

足裏の毛が抜けて赤くなったりかさぶたができています。足が痛くて動かたがらなくなります。ひどくなると出血して床に血が付くことで発見する場合があります①。

学校でのケア

罹患した場合は、藁やダンボールなどを敷いて足の負担を軽減しましょう。

炎症が進行するほど治療が困難になるので早期に獣医師に相談しましょう。

学校での注意事項

夏は風通しを良くし、冬は防寒対策をしましょう。床の清掃をよく行い乾燥に努めます。水はけの悪い場所には「すのこ」などを設置して足の保護をしましょう。

肥満傾向であればラビットフードを少なめにして牧草を多く与え体重を落としましょう。

キーワード：潰瘍・ソアホック・運動不足